

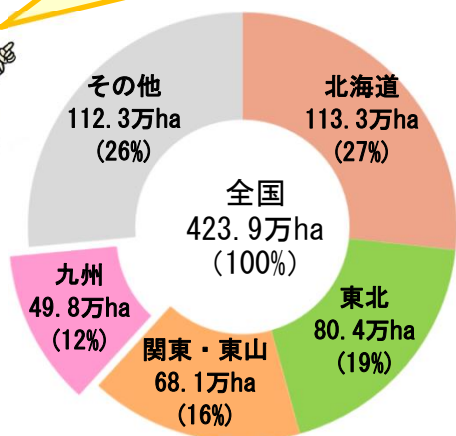


九州の農業

農地の利用状況

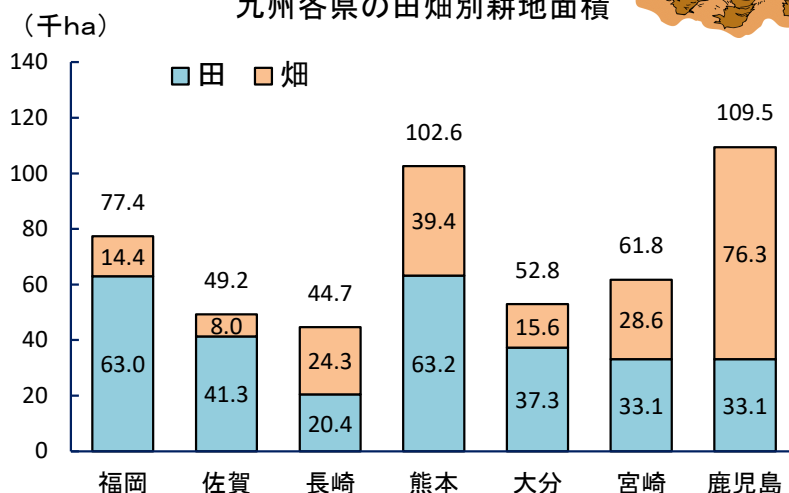
■ 全国と九州の耕地面積(令和7年) ■

九州の耕地面積は約49.8万haで、全国の12%を占めています。



注:「関東・東山」には、山梨県と長野県を含みます。

九州各県の田畑別耕地面積



注:四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合があります。

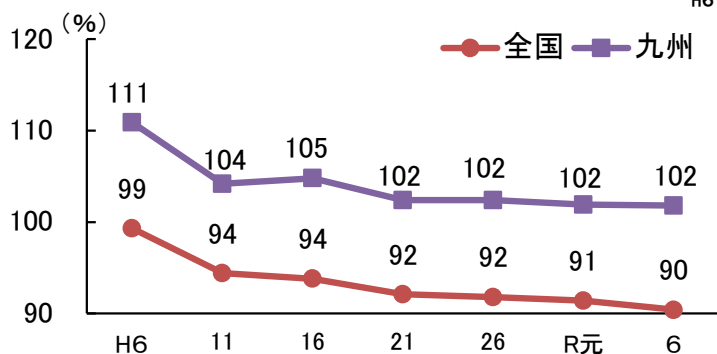
■ 耕地利用率の推移 ■

令和6年の九州の耕地利用率は102%で、全国の90%を大きく上回っています。

県別にみると、佐賀と福岡が高くなっていますが、これは水稲や大豆の後に麦やたまねぎ等の作付けが多く行われていることが主な要因です。

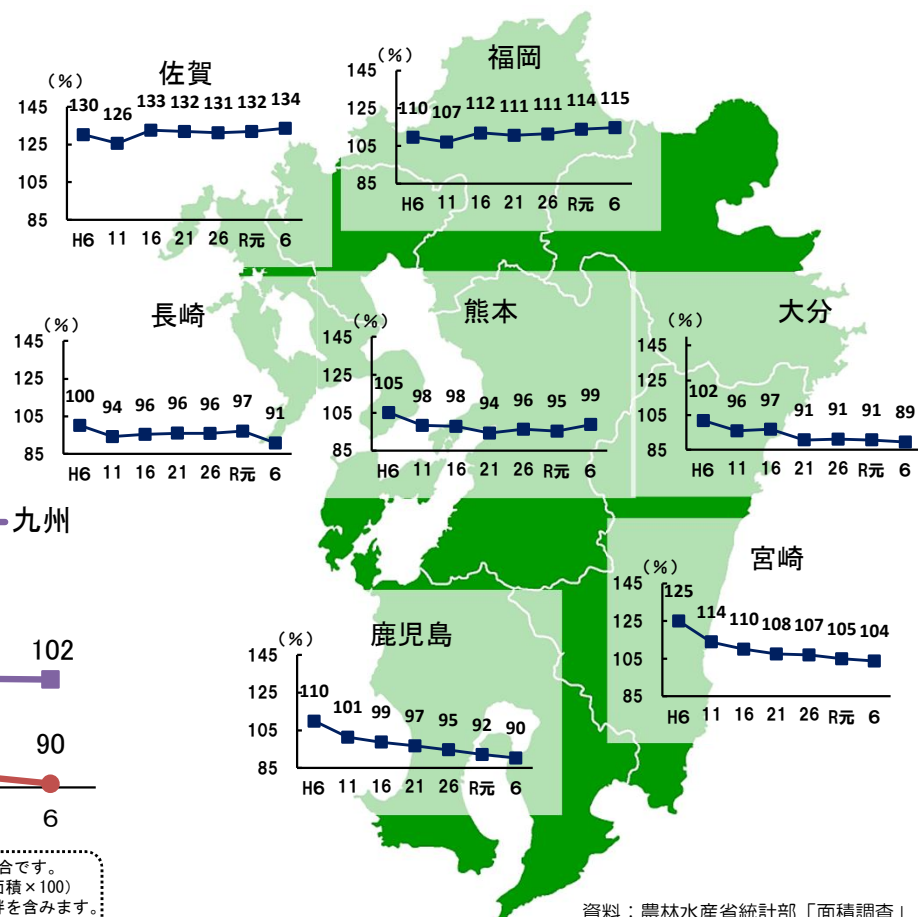


全国と九州の耕地利用率の推移



耕地利用率: 耕地面積を「100」とした作付(栽培)延べ面積の割合です。
 (耕地利用率(%) = 作付(栽培)延べ面積 ÷ 耕地面積 × 100)
 耕地: 農作物の栽培を目的とする土地のことをいい、けい畔を含みます。
 けい畔: 耕地の一部にあって主として本地の維持に必要なものです。

九州各県の耕地利用率の推移



資料: 農林水産省統計部「面積調査」